

# 正しい心肺蘇生法は

## 中学教職員が講習会

新宮市立城南中学校は9日、教職員研修として、

新宮市消防本部の職員を講師に招き、心肺蘇生法

の講習会を開いた。20人が参加、講師の指導のもとで、胸骨圧

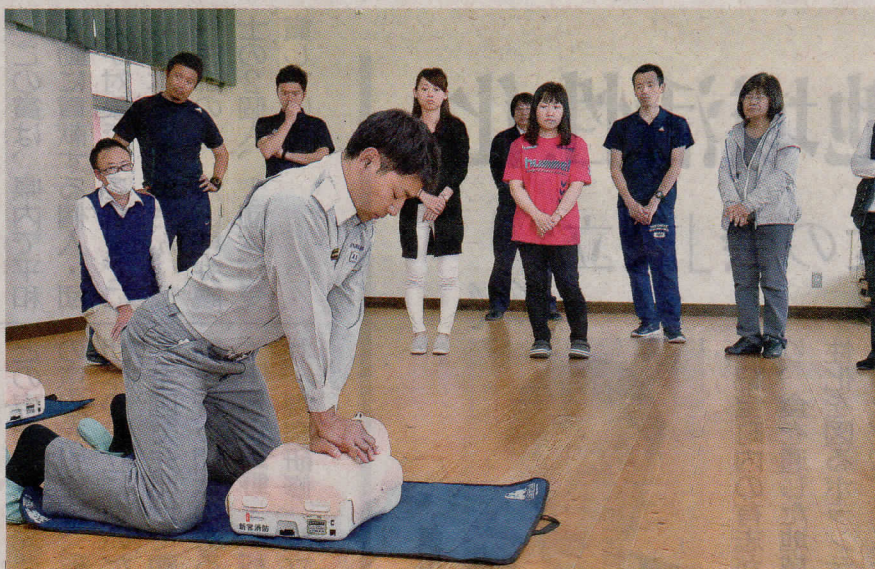
迫（通称・心臓マッサージ）などの方法を学んだ。

菊畑さんは、胸骨圧迫などからなる心肺蘇生法が必要な理由として「心臓が止まると血流がなくなり、脳細胞に血がいかなくなり死んでいってしまう。約3分で脳細胞が死に始める。救急車が到着するまで、場所によっては5分や10分かかる。心臓マッサージで強制的に血液を脳に送る必要がある」と語った。

手本として、訓練用の人体模型を使い、國見さんが胸骨圧迫を行って見せた。周囲に立つ参加者に対して菊畑さんは「両手を使って、ひじを伸ばして垂直に、体重を乗せて押して」などと正しい方法を指導した。

この後、参加者が実践。5人ずつ4班に分かれ、

交代で胸骨圧迫を開始した。菊畑さんと國見さんが見て回り、注意点を助言した。参加者は一定のリズムで、懸命に心臓の部分を押していた。人口呼吸やAED（自動体外式除細動器／通称・電気ショック）の講習もあった。（瀬戸正善）



胸骨圧迫の手順を確認した

## 体育祭の万一に備え

同校は19日（土）に体育祭を控えており、万一の場合の対応も考えて実施した。同様の講習は2年ぶりという。新宮市消防本部の救急係の菊畑理一郎さんと國見陽平さんが講師を務めた。